

### ◆編集・発行

茨城町 町長公室 秘書広聴課  
〒311-3192  
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080  
☎ 029-292-1111  
メールアドレス  
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

### ◆人口

住民基本台帳  
令和7年8月末現在  
男 15,175人  
女 15,116人  
総人口 30,291人  
世帯数 13,737世帯

### ◆茨城町民憲章

- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 1 隣人や家庭の愛を大切にしてい、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りを持ち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

- ◆町の花 桜
- ◆町の木 梅
- ◆町の鳥 うぐいす

◆町の防災行政無線が聞き取れなかった場合  
防災行政無線テレフォンサービス  
☎0800-800-8848  
(通話料無料)  
町ホームページにも放送内容を掲載しています。

### ◆町の情報発信中!!

- 町公式ホームページ  
<https://www.town.ibaraki.lg.jp/>
- 町公式X(旧ツイッター)  
<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>
- 町公式インスタグラム  
[https://www.instagram.com/townibaraki\\_official/](https://www.instagram.com/townibaraki_official/)
- 町公式ライン  
<https://page.line.me/?accountId=ibarakitown>



## 里山に育む生きものたち

No.159 クダマキモドキ  
(キリギリス科)

学名 *Holochlora japonica*  
Brunner

写真・文 小菅 次男

▼クダマキモドキとは  
キリギリス科の虫で中型や大型の美しいツツムシに近い仲間です。本州(新潟、栃木、茨城以南)、四国、九州、沖縄、台湾、東南アジアに分布している南方系の種類です。近年温暖化の影響で分布が北上しています。成虫は全長42〜52mm、全体が緑色で、頭部や目は小さく、体は細長く扁平で、前翅は照葉樹の葉のようになります。メスの産卵管は幅広く、上方に湾

▼鳴く虫の季節到来  
酷暑の季節が過ぎ、やっと待っていた鳴く虫の季節となりました。鳴く虫とは、直翅目のコオロギ科とキリギリス科、及びケラ科に属し、翅をこすり合わせて音を出す種類を言います。今回取り上げたクダマキモドキは、鳴き声は地味ですが姿の美しい種類です。

▼特徴的な産卵  
メスは頑丈な産卵管で食樹の細枝に縦に5〜12cm程度の傷をつくり、多数産卵をします。この産卵はセミの産卵形態とよく似ていますが、セミは枯れ枝、本種は生木に産卵との違いがあります。果樹園ではこれがもとで枝折れが起こり害虫となっています。

曲し、頑丈な鎌形をしています。成虫の発生時期は8〜11月で樹上生活をし、飛翔力が高く、樹間を盛んに飛び回り、灯火にも飛来します。広葉樹を中心とした様々な樹林や柑橘類、カキなどの果樹園などで見られる広食性の種類です。キョウチクトウなど猛毒の葉も平気で食べたりします。

▼名前の由来  
江戸時代には、クツワムシの鳴き声が機械り機の糸車の管が回る音に似ているので、管巻(クダマキ)と言ったようです。モドキとは似て非なるものをさすので、クダマキモドキの名はクツワムシに似た虫と云うことです。



クツワムシ

全てオスです。ところが、クダマキモドキはメスに発音器があつて鳴きます。しかし、発音器の造りが幼稚なので鳴くというよりは「パチパチッ」という単なる音を出す組織と言えるようです。オスは前翅の基部に小さな発音器があり、「ゲルルル」との鳴き声も小さく、鳴く虫としては極めて目立たない存在です。

# 2025

## いばらきまつり開催!

農商工の様々な分野が一堂に会する町最大のイベント! 物販・グルメ・体験・PRブースのほか、ステージショーも盛りだくさん。  
まつりの最後を飾るフィナーレ花火は圧巻です。ぜひご来場ください!



日時/11月2日(日)

午前10時~午後6時30分

場所/茨城町総合福祉センター「ゆうゆう館」前駐車場